

AA

日本ニュースレター No.78

## 新B類常任理事決定！

21世紀を迎える最後の年が始まると同時に、その任期をスタートさせる常任理事（B類：アルコールイク）の選出が、7月の告示から選挙管理委員会（中四国セントラルオフィス内）によって公正に行われました。

今回の選出選挙は、全体サービス常任理事3名、東日本圏選出常任理事1名を選出するもので、第7回GSM決議に基づく実施要綱が適用されて行われ、結果としては、選出数と立候補者数が同数でしたので、信任投票の形になりました。選出された新常任理事は以下の通りです。

全体サービス常任理事： 伊藤  
木村  
高橋

東日本圏選出常任理事： 金田

4名とも、有権者（30名の評議会構成メンバー）の3分の2以上の得票を得て選出されました。AAの目的であるまだ苦しんでいる人々へ愛の手を届けるために全体サービスの中心を担う大切な役割が4名の仲間に与えられました。

新しい常任理事たちは、GSMや評議会の経験を踏まえ、全体サービスに関わり、それぞれの役割をしっかりと果たしてきたメンバーであることはもちろんですが、これから更にAAの大きな目的に向かって良いリーダーシップを果たしてもらわなければなりません。AAの三角形の一番下で、メンバーからの様々な付託に応えるのですから、とても大変な事だと思います。

常任理事会を支えるのはメンバー一人一人なのです。AA日本常任理事会に仕事をしてもらうことが私たちの責任だと考えます。

選出された新理事からは、今後順次に抱負などをニュースレターの紙面で語っていただこうと考えています。どうぞご期待ください。

「AAを前進させるために」  
第五回AA日本全国評議会

二千年

二〇〇〇年二月十一～十三日に開催される評議会の準備が、評議会事務局、評議会事務局によって着々と進められています。第4回評議会が終了した時点から、次の評議会のために作業が始まりました。各地域へ戻った評議員は、地域のメンバーに評議会の報告をし、決議、勧告された事柄について、その内容を説明したり、問題提起をしてメンバーの意見や提案の収集活動が行われたことと考えています。色々な疑問、提案などが、メンバーから直接、評議会事務局に届けられたり、評議員を通して届けられ、次の評議会の議題が作られていくことが目標なのですが、日本の現状は、まだまだ、そこまでに達していないという事実を残念ながら認めざるを得ません。しかしAAのプログラムは、一歩ずつ前進をしてゆくことを私たちメンバーに経験として教えてくれています。それぞれが自らの回復の源流をたどると、そこにAAの愛の手があったことを思い出すことができると思います。

各地域で次の評議員の選出作業に入っていることですが、来春の評議会でする議題の提案とともに後期評議員から経験の述べ伝えが、新しい評議員に手渡される事と信じています。簡単な日程表をお知らせいたします。

二月十一日 受け付け開始

十二日 全体会議

WSM・AOSM、各地域からの報告

各分科会からの提案

十三日 全体会議

提案、勧告の審議、採決、承認

今日一日の生き方は全てのメンバーが大切にしていることです。一人ではどうしてもできなかったことを、今、奇跡が起きて、新しい生き方を見つけてきたのだと私は信じています。今、私たちが何をすれば良いのか、苦しんでいる人々、これから苦しむであろう人々に、どこにでもAAの愛の手が差し伸べられますように。AA日本の全体サービスが求められていることを、前進させるために！

評議会事務局

## 外国語ボランティアの応募ありがとうございました

タガログ語、韓国語のボランティアも！

前号のニューズレターで、常任理事会の国際協力委員会が外国語のボランティアを募集したところ、十月中旬の時点で十二名の応募があり、皆様の熱意と反応の早さに感謝しつつ、さっそく、サービスマン関係の資料の翻訳をお願いしているところです。

応募くださったボランティアの中には、英語以外にも、タガログ語、タイ語、ドイツ語、イタリア語、韓国語、ロシア語の申し出がありました。

さきごろ韓国からインターナショナルコンベンションの案内が届きましたが、これはさっそく韓国語のボランティアの方に訳していただいて、とても助かりました。

また、海外から日本に来て、日本でアルコール依存の問題が出て、日本の病院に入院している外国人も年々増加しているかと思いますが、言葉の壁のために、AAのメッセージも届かず、孤立している外国人のアルコール依存の人たちには、タガログ語やタイ語、韓国語といったアジアの国々の言葉がOKというボランティアに協力を依頼できることになり、たいへん心強い限りです。

日本全国どここの病院でも、いつでも、メッセージに伺えるというわけにはゆきませんが、Eメールやファックス、電話、手紙等を利用して現地の言葉でメッセージを運ぶお手伝いは可能かと思えます。

もしメンバーの皆様がメッセージに行った先の病院で、フィリピン、タイ、韓国から来ていて、日本語や英語は話せないという方がアルコールで入院していた場合、ご連絡ください。

また、医療関係者の方で、上記の国の言葉しか話せない患者さんがおられるという場合、ご連絡頂けましたら、ご協力できるかと思えます。

今回応募いただいた翻訳ボランティアの中には、大学でも教鞭をとっておられる関係者の方からの申し出もありました。その大学の学生たちに呼びかけて翻訳ボランティアのグループを立ち上げ、AAの

## 世界のニュースから

AAOSMニューズレター第3号より

13人のアル中、中国へ12番目のステップ！

サンフランシスコAAのソーバーなアルコール依存症（と1人のアラノン・メンバー）13人からなる一団が、各自自分の時間とお金を使って、先ごろ中国を訪問し2週間滞在した。医学界や保健関係の専門家にAAのメッセージを“手渡してゆくため”である。これは彼らの冒険のレポートである。

サンフランシスコ AAメンバー

私達は出発する前、中国におけるこの病気の状況については何も知らないのだということは分かっていた。中国の人々はメッセージを聞いてくれるだろうか、私達に対して彼らはどのような反応を示すだろうか...

私達の目的はただ、この問題についての理解を深めること、そしてかの地に私達がいくつかの種子を蒔くことができるかどうかを確かめることだった。

私達は四つの都市（北京、西安、青島、上海）で医師、保健関係者、医学部の教授や研究者と10回ほど公式な会議を持った。だが、実際に、飲み過ぎたことのある、あるいはアルコール依存症かもしれないという人たちとの出会いはほんの一握りに過ぎなかった。その点から言えば、私達の旅は、アルコール依存症に対する“典型的な12番目のステップ活動”というより、AAの専門家協力活動の範ちゅうに入るものだった。

私達AAメンバーの今回の中国訪問は、かつて、AAからたくさんのメンバーがロシアやキューバに行き、直接アルコール依存症と出会って、メッセージを運んだものとは異なるものだった。

私達は帰国した今も、果たしてアルコール依存症が中国で大きな問題となっているのか判らないままだ。私達はきちんとした資格を持つ専門家から、中国人には飲酒の問題などないのだと言われた。一方で、中国における交通事故や職場の事故の多くはアルコールに関連したものだと言われた。またほかでは、アルコール依存症は実際に大きな問題になっていると聞かされた。

翻訳もお手伝いいただけるという申し出に、さっそくNYのGSOが発行しているニューズレターの一部の翻訳をお願いしている次第です。

JSOには各国からニューズレターや活字によるミーティングとしての機関紙が定期的に、何種類も届いていますが、その中には皆様にもぜひ紹介したいという記事がたくさんあります。今後は、翻訳ボランティアのかたがたにご協力頂き、できるだけ多くのニュースを皆様と共有していきたいと考えております。

今回は早速、ボランティアに翻訳していただいた記事の一部をここに紹介させていただきます。紙面の都合上、本号では二編しか掲載できませんことを心苦しく思っています。

アルコールクが何であるのかを説明するのは非常に難しかった。まして、通訳を介し、そしてとても簡単な言葉でゆっくりと、一言一言区切って話さなければならないのだ。これは、飲酒の問題とは何かをうすうす分かっている人や、あるいは文化面や言語面である程度接点のある人と、自らの経験と力と希望を分かち合うのとはまったく違うことだった。

私たちは自分のお金でこの地へ来たボランティアであること、その唯一の目的はただメッセージを運ぶことであること、私たちは形式にのっとった組織を持たず、ボスも本部もなく、外部からのお金も受け取らないのだということを言ったとき、彼らが本当に私達を信じたかどうかは分からない。

何しろ前後の脈絡なくこのことだけを聞いたなら、どれについても何かおかしいと思われることばかりなのだから！しかし私達を迎えてくれた人たちはとても親切で好意的だった。そしてA Aの活動が少なくとも一つの都市で始まるかもしれないという強い期待を抱いて私達は帰路に着いたのだった。

どの都市でも、そこで出会った一部の専門家たちの関心と好奇心を引き起こしたに違いないという感触は得ることができた。

## GSO矯正施設関連より

### 回復は家族全体の問題 General Service Office of A.A.BOX4-5-9 Vol.45.No.4(1999)

現役の酔っぱらいの行動が、その家族全員に悲観的な波紋を及ぼしていることは周知の事実である。しかし、その逆もまた事実である。すなわちA Aで回復の途上にあるアルコールクが、その家族をよみがえらせるということもある。最近G S Oに届いた一通の手紙もそのことを示している。それはカリフォルニア在住の男性から届いたスペイン語の手紙である。

「私の弟のレイモンは、東海岸のある矯正施設に収容されています。弟はA Aのプログラムを通してアルコール依存からどれほど回復したかを家族に話してくれました。弟は、塀の外側にいるスポンサーと手紙の交換をするなかで、人生観が素晴らしく変わったと言っています。」

レイモンは、G S Oが行っている“矯正施設文通サービス”を受けている。これは、矯正施設の外側にいるA Aメンバーが塀の内側にいるアルコールクの仲間と手紙の交換を行なうというサービスである。“内側”にいるA Aメンバーは、多くの場合、施設の外から手紙を書いてくれる文通相手を次第にスポンサーと考えるようになる。そのスポンサーは、飲まない生き方(ソプラエテイ)を続けてきたなかでの、その人自身の経験を分かち合ってくれ、また、釈放の際には、刑務所での生活からA Aのプログラムの主流に移行するまでの極めて重大な転換期を乗り越える手助けもしてくれる。

この男性は、A Aに対する感謝の気持ちをあらわしながら、次のように結んでいる。

「私の弟が歩んできた道は、弟自身も私たち家族をも深く苦しめ、悲しませるものでした。しかし今、彼にはA Aがあります。弟に対する皆様方の団体からの御支援に深く感謝します。皆様が与えてくださったお力により、レイモンは回復でき、希望を持つことができました。私たち家族は全員が心から皆様方に敬意を表しております。そしてアルコール依存症で苦しむ多くの人たちに対する皆様の活動のご発展に心からのお喜びを申し上げる次第です。」

## 新刊案内

### 「今こそ充実した生き方を」

高齢でA Aメンバーになった人たちの体験をつづる。

60才を越えてからアルコール依存(アルコールリズム)の問題に直面し、A Aにつながった人たち9名の体験がつづられています。そこで語られている経験と力と希望は、年齢を超え、国境を超えて、心に染み込んでくるものばかりです。

10月末発行 64ページ 500円

### 「代議員」

A Aで一番大事な役割かもしれません。

グループは一番適任のメンバーをグループの代議員に選出することで、グループの将来を、そしてA A全体の将来を確実に守ることになる。

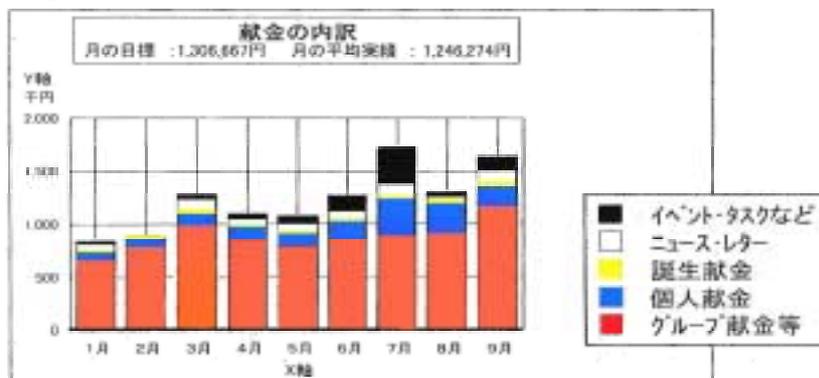
代議員に選ばれたら、どういう役割や責任があるのか、グループは代議員を選出する際、どういうことを考慮したらよいのか。ぜひ参考にしてみてください。

10月末発行 リーフレット式 100円

## J S O 献金の中間報告と今後の課題について

このニューズレターがお手元に届く頃には、各グループ代議員へ送付した情報も到着している事と思います。評議員、常任理事の呼びかけにメンバーの皆様が応えていただいた中間結果の資料として、収支計算書をご覧ください。

収入合計の消化率・対予算比は依然として危機的な数字ですが、献金の推移は6月より増加を続けています。表をご参照ください。



ラウンドアツア献金などを除いた、メンバー、グループからの献金が毎月伸びてきていることが、グラフではっきりと示されています。収支計算書を見ると、'99予算でB.Bの値下げとその売売を見た数字を建てた書籍頒布の収入は、達成が困難ではありますが、現在の献金のペースをわずかずつでも上昇維持できれば、かなりカバーする事ができると考えます。しかし、収入合計は数字的に予算の達成は難しいように思えます。

今回の献金の呼びかけが、一過性のものであってはならないと思いますが、常任理事会・J S Oのサービスを今後どのように展開するのか考える必要があります。

メンバー一人一人が「ボス」なのですから、奉仕を任された「しもべ」に何をして欲しいか、何をするのかを、伝えなければなりません。代議員・評議員はそのためにある、大切な役割だと思います。(J S Oへのご意見箱、電話、F A Xのご活用もどうぞよろしく。)紙面の冒頭で常任理事の選出、評議会のお知らせをいたしました。A Aの公平な、民主主義を、時間はかかるかもしれませんが徹底して追及したいと思えます。来春25周年を迎える日本のA Aが、四半世紀の経験を21世紀への希望へと伝える事を問われていると考えます。

### ミネアポリスA Aインターナショナルコンベンション(A A 65周年)

2000年6月29日～7月2日

#### ツアー参加者第二次募集

第一次募集はすでに締切りましたが、好評につき第二次募集を企画しました。

次回の締切りは、一月三十一日です。

今回は参加希望者全員が同じホテルに宿泊できるかどうかは保証できません。いくつかのホテルに分かれるかもしれませんが、宿舎は確実に確保できます。

詳しいお知らせは代議員宛てに送付してあります。前回と同様、関西空港発をご希望の方は関西セントラルオフィスにお申し込みください。関係者の方も多数ご参加いただけますようお願いいたします。

なお、ツアーに問わずに個人で参加したいという方にはJ S O、各COに、登録用の書き込みについて日本語の説明書をご用意してあります。登録用紙ももちろんです。

### A A 日本ニューズレター No. 78

編集・発行：A A日本ゼネラルサービスオフィス(J S O) 〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル4 F

TEL: 03-3590-5377 FAX: 03-3590-5419 ホームページ: <http://www4.justnet.ne.jp/~serenity/>